

平成21年決算特別委員会 事業評価シート

会派名： 日本共産党

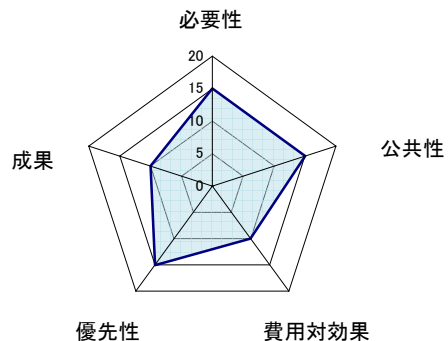
No.	予算科目	事業名	事業報告書詳細ページ
8	衛生費	ごみ減量化推進事業	784

1 項目別評価（事前評価）

評価項目	評価基準（該当右欄に○）	評価点	評価コメント（100字以内）
(1)必要性 (市民ニーズ)	①きわめて必要性が高い(20点) ②必要性が高い(15点) ③どちらかといえば必要性がある(10点) ④必要性が低い(5点) ⑤必要性がない(0点)	○ 15	環境問題からも経済問題からも、ごみ減量に取り組むべき。市民にごみ減量の努力をおしつけるだけでなく、排出者責任を企業に求めるべき。
(2)公共性 (市が行わなければならないか)	①市が行わないといけない(20点) ②公共性が高い(15点) ③どちらかといえば市が実施(10点) ④公共性が低い(5点) ⑤公共性がない(0点)	○ 15	市がごみ減量のイニシアチブをとるべき。市民との協力・協働ですすめる事業であることから、公共性が高い。
(3)費用対効果 (コストに見合った成果があるか)	①きわめて効果的である(20点) ②効果的である(15点) ③どちらかといえば効果的(10点) ④どちらかといえば非効果的(5点) ⑤非効果的である(0点)	○ 10	分別と資源化の徹底で、一定のごみ減量はすすんだが、有料指定袋の導入で市民に負担増になったことは問題。3年後の25%削減目標達成のため、市民との協力・協働はますます必要。
(4)優先性 (他事業に優先し実施する必要があるか)	①きわめて優先性が高い(20点) ②優先性が高い(15点) ③どちらかといえば優先性がある(10点) ④優先性が低い(5点) ⑤優先性がない(0点)	○ 15	地球温暖化対策からも急がねばならない。大量排出元である企業の責任を問うべき。市としても企業に対する国の施策を求めるべき。
(5)成果 (目標の達成状況)	①きわめて成果があがっている(20点) ②成果があがっている(15点) ③どちらかといえばあがっている(10点) ④どちらかといえばあがっていない(5点) ⑤成果はあがっていない(0点)	○ 10	いまのところは、一定の減量に成功していると言える。市民協働がすすみ、集団回収が増えたこと、ごみ減量等推進委員会、各種生ごみ処理講習会は評価できる。

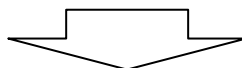
2 全体評価（事前評価）

全体のバランス・事業の位置づけなど(200字以内)
 有料指定袋の導入は、ごみ減量に一時的に効果が上がっているように見えるが、最大の力は、市民の協力・協働の力である。必要性、公共性、優先性はあるが、これに企業などの排出削減の義務が加わらないと本当の効果は上がらない。3年後の25%削減目標は大きな課題である。また有料化が与えた市民の暮らしへの影響について検証すべき。



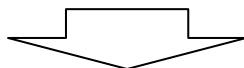
3 第1次評価（事前評価）

評価	評価基準	合計評価点	判定理由(150字以内)
4	5 きわめて良好である 80点以上	65	「適正」との判断になっているが、最大の問題は、市民への新たな負担増と、今後の減量推進の原動力である市民協働をどう推進していくか、ということ。有料袋の値下げや減免制度を広げるなどして、負担軽減と市民協働推進を図ることをめざすべき。
	4 適正である 60～79点		
	3 おおむね適正である 40～59点		
	2 問題がある 20～39点		
	1 不適正である 19点以下		



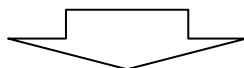
4 決算審査における確認事項 (300字以内)

ごみ減量が、07年度比で17.5%減を達成したことは、なによりも市と市民との協力・協働の力だったことを明らかにした。今後のごみ減量に向けて、資源の集団回収を全世帯の80%にまで広げたい(現行66%)という市としての意向を明らかにした。生ごみ処理器補助、業者助成などについての改善の方向を明らかにした。



5 現在の社会状況等

市の財政状況・国及び都の動き・市民生活などをふまえた、改善・効率化・見直しの方向性(200字以内)
自治体にごみ処理の費用負担をかぶせることは問題。新政権は、2020年までに温室効果ガスを1990年比で25%削減すると明言した。国内では電力会社など大手企業の責任が問われる。また地球環境維持のため、国際的な取り組みが必要。これからは、儲けるためにはなんでもやるという企業のありかたが問われる。



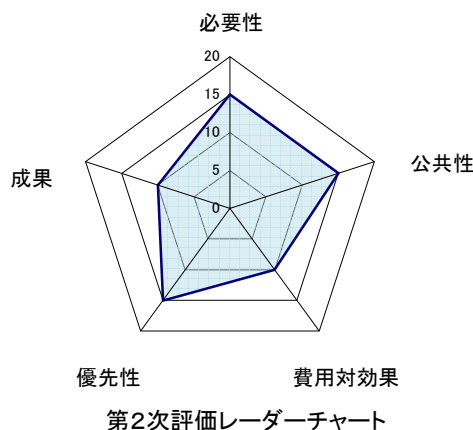
6 第2次評価(修正・今後の方向性)

(1)項目別評価及び全体評価 ※評価基準等は、第1次評価と同じ

評価	合計評価点	(1)必要性	(2)公共性	(3)費用対効果	(4)優先性	(5)成果	全体評価(100字以内)
4	65	15	15	10	15	10	第1次評価と同じ。

(2)評価コメント

評価の補足・修正理由など(300字以内)
修正なし。補足なし。有料指定袋の導入は、ごみ減量に一時的に効果が上がっているように見えるが、最大の力は、市民の協力・協働の力である。必要性、公共性、優先性はあるが、これに企業などの排出削減の義務が加わらないと本当の効果は上がらない。3年後の25%削減目標は大きな課題である。また有料化が与えた市民の暮らしへの影響について検証すべき。



(3)今後の方向性

評価	評価基準	判定理由(200字以内)
3	5 拡充する 4 現状のまま継続する 3 改善・効率化し継続 2 見直しのうえ縮小する 1 休止・廃止	有料化によるインセンティブは、初年度だからこそ働いたのであり、今後、いっそう、市民の協力が必要となる。資源の集団回収が全世帯の66%にまで達したが、これを延ばして80%をめざすことは評価できる。有料指定袋の収入は税の二重取りとも言えるもの。これを使って袋の値下げや減免制度を広げることも検討すべき。さらなるごみ減量のために市と市民との協力・協働がいっそう必要。

※特記事項(200字以内)
ごみ減量を市民の努力だけにまかせても抜本的なごみ減量にはつながらない。排出元である企業の責任を問うべきである。企業が、ごみ排出につながる製品を抑制することや過重な包装をさけるよう努め、また企業としてもごみ処理にかかる費用を負担すべき。

平成21年決算特別委員会 事業評価シート

会派名： 公明党

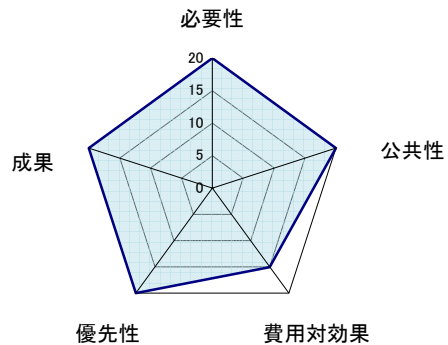
No.	予算科目	事業名	事業報告書詳細ページ
8	衛生費	ごみ減量化推進事業	784

1 項目別評価（事前評価）

評価項目	評価基準（該当右欄に○）	評価点	評価コメント（100字以内）
(1)必要性 (市民ニーズ)	①きわめて必要性が高い(20点) ②必要性が高い(15点) ③どちらかといえば必要性がある(10点) ④必要性が低い(5点) ⑤必要性がない(0点)	○ 20	環境問題や最終処分場の問題など、市民の関心は高い。
(2)公共性 (市が行わなければならないか)	①市が行わないといけない(20点) ②公共性が高い(15点) ③どちらかといえば市が実施(10点) ④公共性が低い(5点) ⑤公共性がない(0点)	○ 20	市民への協力が必要であり、啓発活動など十分理解が得られた。
(3)費用対効果 (コストに見合った成果があるか)	①きわめて効果的である(20点) ②効果的である(15点) ③どちらかといえば効果的(10点) ④どちらかといえば非効果的(5点) ⑤非効果的である(0点)	○ 15	再資源化・啓発活動で減量目標を達成。
(4)優先性 (他事業に優先し実施する必要があるか)	①きわめて優先性が高い(20点) ②優先性が高い(15点) ③どちらかといえば優先性がある(10点) ④優先性が低い(5点) ⑤優先性がない(0点)	○ 20	環境の面からも継続して、24年度25%目指して努力していただきたい。
(5)成果 (目標の達成状況)	①きわめて成果があがっている(20点) ②成果があがっている(15点) ③どちらかといえばあがっている(10点) ④どちらかといえばあがっていない(5点) ⑤成果はあがっていない(0点)	○ 20	15%の目標に対し、17.4%の減量達成は大いに評価できる。

2 全体評価（事前評価）

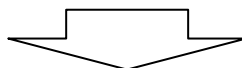
全体のバランス・事業の位置づけなど(200字以内)
市民の努力なしではごみの減量はできない。有料指定袋で市民に負担をお願いしたが、結果目標をはるかに超えたことを市民へ感謝すべきです。今後も継続して、啓発活動を行っていただきたい。



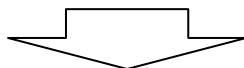
第1次評価レーダーチャート

3 第1次評価（事前評価）

評価	評価基準	合計評価点	判定理由(150字以内)
5	5 きわめて良好である 80点以上	95	
	4 適正である 60~79点		
	3 おおむね適正である 40~59点		
	2 問題がある 20~39点		
	1 不適正である 19点以下		

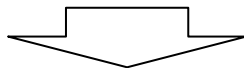


4 決算審査における確認事項 (300字以内)



5 現在の社会状況等

市の財政状況・国及び都の動き・市民生活などをふまえた、改善・効率化・見直しの方向性(200字以内)



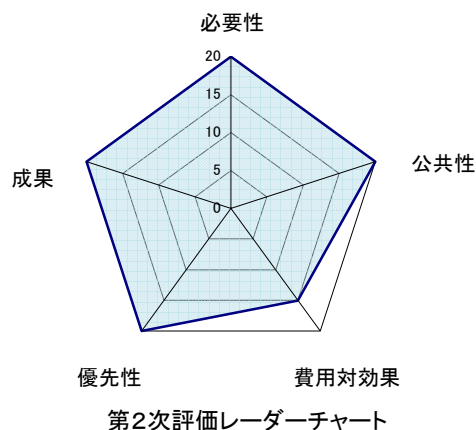
6 第2次評価 (修正・今後の方向性)

(1) 項目別評価及び全体評価 ※評価基準等は、第1次評価と同じ

評価	合計評価点	(1) 必要性	(2) 公共性	(3) 費用対効果	(4) 優先性	(5) 成果	全体評価(100字以内)
5	95	20	20	15	20	20	

(2) 評価コメント

評価の補足・修正理由など(300字以内)



(3) 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由(200字以内)
5	5 拡充する 4 現状のまま継続する 3 改善・効率化し継続 2 見直しのうえ縮小する 1 休止・廃止	ごみの減量には市民の協力が必要である、そのためには紙類の資源化や生ごみの軽量化(水切り)などそして、ごみになるようなものは買わない意識づけが必要である、さらなる減量に期待する。

※特記事項(200字以内)

平成21年決算特別委員会 事業評価シート

会派名： 多摩市議会自由民主党

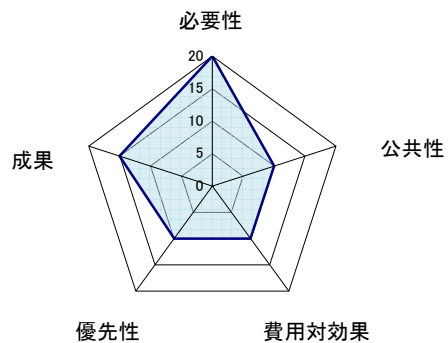
No.	予算科目	事業名	事業報告書詳細ページ
8	衛生費	ごみ減量化推進事業	784

1 項目別評価（事前評価）

評価項目	評価基準（該当右欄に○）	評価点	評価コメント（100字以内）
(1)必要性 (市民ニーズ)	①きわめて必要性が高い(20点) ②必要性が高い(15点) ③どちらかといえば必要性がある(10点) ④必要性が低い(5点) ⑤必要性がない(0点)	○ 20	環境問題は全国民が真剣に取り組む重要課題。これからも積極的な推進を。
(2)公共性 (市が行わなければならないか)	①市が行わないといけない(20点) ②公共性が高い(15点) ③どちらかといえば市が実施(10点) ④公共性が低い(5点) ⑤公共性がない(0点)	 ○ 10	市民への協力は必要だが、公共だけが背負う問題ではない。
(3)費用対効果 (コストに見合った成果があるか)	①きわめて効果的である(20点) ②効果的である(15点) ③どちらかといえば効果的(10点) ④どちらかといえば非効果的(5点) ⑤非効果的である(0点)	 ○ 10	減量目標は概ね達成してきているが、市民負担がこれ以上増えない工夫も必要と考える。
(4)優先性 (他事業に優先し実施する必要があるか)	①きわめて優先性が高い(20点) ②優先性が高い(15点) ③どちらかといえば優先性がある(10点) ④優先性が低い(5点) ⑤優先性がない(0点)	 ○ 10	
(5)成果 (目標の達成状況)	①きわめて成果があがっている(20点) ②成果があがっている(15点) ③どちらかといえばあがっている(10点) ④どちらかといえばあがっていない(5点) ⑤成果はあがっていない(0点)	 ○ 15	

2 全体評価（事前評価）

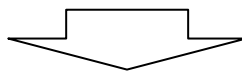
全体のバランス・事業の位置づけなど(200字以内)
多摩市におけるごみ減量化施策は全国的にも評価が高い。これに甘んじることなく更なる工夫で、施策の充実を図られたい。



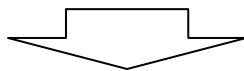
第1次評価レーダーチャート

3 第1次評価（事前評価）

評価	評価基準	合計評価点	判定理由(150字以内)
4	5 きわめて良好である 80点以上	65	
	4 適正である 60～79点		
	3 おおむね適正である 40～59点		
	2 問題がある 20～39点		
	1 不適正である 19点以下		

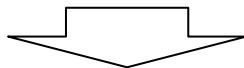


4 決算審査における確認事項 (300字以内)



5 現在の社会状況等

市の財政状況・国及び都の動き・市民生活などをふまえた、改善・効率化・見直しの方向性(200字以内)



6 第2次評価(修正・今後の方向性)

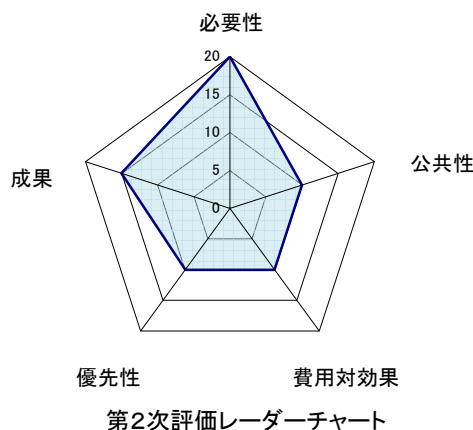
(1) 項目別評価及び全体評価 ※評価基準等は、第1次評価と同じ

評価	合計評価点	(1) 必要性	(2) 公共性	(3) 費用対効果	(4) 優先性	(5) 成果	全体評価(100字以内)
4	65	20	10	10	10	15	

(2) 評価コメント

評価の補足・修正理由など(300字以内)

現時点でごみ減量化は着実に進んでいると判断する。また、市民への啓発活動も効果的であったと認識する。



(3) 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由(200字以内)
4	5 拡充する 4 現状のまま継続する 3 改善・効率化し継続 2 見直しのうえ縮小する 1 休止・廃止	今後も市民の協力をさらに得られるような体制を継続すべきである。

※特記事項(200字以内)

過去にダストボックスを廃止したときにも大幅な減量がなされたが、ゴミ袋有料化によって市民の意識も向上し、目標を上回る成果だった。実施までの経緯も含めて高い評価をしている。さらに進めるには発生抑制をすることが重要で、有料袋販売で歳入になった資金は環境啓発だけでなく広範囲に使用できるようかんがえていただきたい。

平成21年決算特別委員会 事業評価シート

会派名： 改革ゆいの会

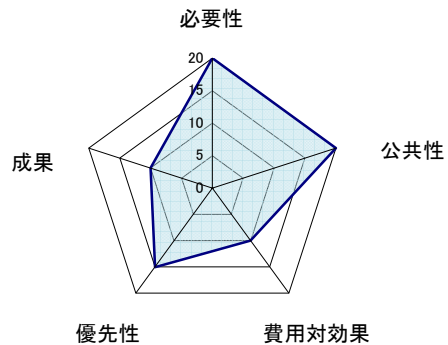
No.	予算科目	事業名	事業報告書詳細ページ
8	衛生費	ごみ減量化推進事業	784

1 項目別評価（事前評価）

評価項目	評価基準（該当右欄に○）	評価点	評価コメント（100字以内）
(1)必要性 (市民ニーズ)	①きわめて必要性が高い(20点) ②必要性が高い(15点) ③どちらかといえば必要性がある(10点) ④必要性が低い(5点) ⑤必要性がない(0点)	○ 20	但し家庭系ごみ有料化は問題である。
(2)公共性 (市が行わなければならないか)	①市が行わないといけない(20点) ②公共性が高い(15点) ③どちらかといえば市が実施(10点) ④公共性が低い(5点) ⑤公共性がない(0点)	○ 20	市民からの税金の二重取りであるとの指摘は多い。可燃物ごみの分別手法に問題あり。徹底して分別は図るべきである。
(3)費用対効果 (コストに見合った成果があるか)	①きわめて効果的である(20点) ②効果的である(15点) ③どちらかといえば効果的(10点) ④どちらかといえば非効果的(5点) ⑤非効果的である(0点)	 ○ 10	公費負担が多いことで成り立っている。
(4)優先性 (他事業に優先し実施する必要があるか)	①きわめて優先性が高い(20点) ②優先性が高い(15点) ③どちらかといえば優先性がある(10点) ④優先性が低い(5点) ⑤優先性がない(0点)	 ○ 15	市民協働を進めて環境負荷のない処理方法を探るべきである。
(5)成果 (目標の達成状況)	①きわめて成果があがっている(20点) ②成果があがっている(15点) ③どちらかといえばあがっている(10点) ④どちらかといえばあがっていない(5点) ⑤成果はあがっていない(0点)	 ○ 10	プラスチックの分別収集の手法には再考の余地あり。プラスチックごみの増量の原因になっている。

2 全体評価（事前評価）

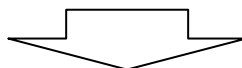
全体のバランス・事業の位置づけなど(200字以内)
 国の法制化で製造者責任を明確にすべきである。清掃事業は本来市税で賄うべきで、有料化は税金の二重取りとなる。



第1次評価レーダーチャート

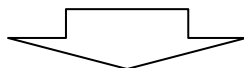
3 第1次評価（事前評価）

評価	評価基準	合計評価点	判定理由(150字以内)
4	5 きわめて良好である 80点以上	75	総合的に判断
	4 適正である 60~79点		
	3 おおむね適正である 40~59点		
	2 問題がある 20~39点		
	1 不適正である 19点以下		



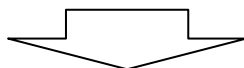
4 決算審査における確認事項 (300字以内)

家庭系ごみ有料化によってのみ減量となったのではないとの議論には注目。今後ごみ量の推移を注視したい。



5 現在の社会状況等

市の財政状況・国及び都の動き・市民生活などをふまえた、改善・効率化・見直しの方向性(200字以内)



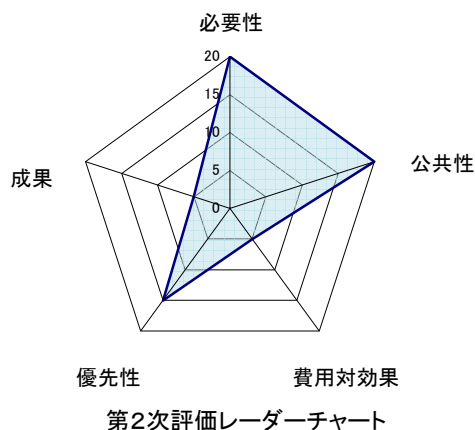
6 第2次評価(修正・今後の方向性)

(1)項目別評価及び全体評価 ※評価基準等は、第1次評価と同じ

評価	合計評価点	(1)必要性	(2)公共性	(3)費用対効果	(4)優先性	(5)成果	全体評価(100字以内)
4	65	20	20	5	15	5	再度、総合的に判断した。

(2)評価コメント

評価の補足・修正理由など(300字以内)
 清掃事業は本来市税で賄うべきで、有料化は税金の二重取りとなる。



(3)今後の方向性

評価	評価基準	判定理由(200字以内)
3	5 拡充する 4 現状のまま継続する 3 改善・効率化し継続 2 見直しのうえ縮小する 1 休止・廃止	総合的に判断した。

※特記事項(200字以内)

平成21年決算特別委員会 事業評価シート

会派名：生活者ネット・無所属の会

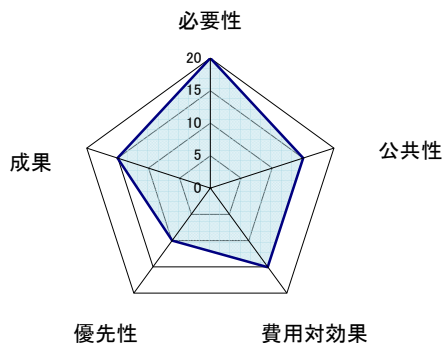
No.	予算科目	事業名	事業報告書詳細ページ
8	衛生費	ごみ減量化推進事業	784

1 項目別評価（事前評価）

評価項目	評価基準（該当右欄に○）	評価点	評価コメント（100字以内）
(1)必要性 （市民ニーズ）	①きわめて必要性が高い(20点) ②必要性が高い(15点) ③どちらかといえば必要性がある(10点) ④必要性が低い(5点) ⑤必要性がない(0点)	○ 20	
(2)公共性 （市が行わなければならないか）	①市が行わないといけない(20点) ②公共性が高い(15点) ③どちらかといえば市が実施(10点) ④公共性が低い(5点) ⑤公共性がない(0点)	○ 15	
(3)費用対効果 （コストに見合った成果があるか）	①きわめて効果的である(20点) ②効果的である(15点) ③どちらかといえば効果的(10点) ④どちらかといえば非効果的(5点) ⑤非効果的である(0点)	○ 15	
(4)優先性 （他事業に優先し実施する必要があるか）	①きわめて優先性が高い(20点) ②優先性が高い(15点) ③どちらかといえば優先性がある(10点) ④優先性が低い(5点) ⑤優先性がない(0点)	○ 10	
(5)成果 （目標の達成状況）	①きわめて成果があがっている(20点) ②成果があがっている(15点) ③どちらかといえばあがっている(10点) ④どちらかといえばあがっていない(5点) ⑤成果はあがっていない(0点)	○ 15	

2 全体評価（事前評価）

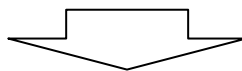
全体のバランス・事業の位置づけなど(200字以内)
 家庭ごみの有料化がスタートして減量目標数値は上回る
 ことができた。担当課の努力と市民の努力が結集したこと
 によると考えるがさらに市民協働をすすめ、もっとかかわ
 る市民を広げ、減量対策を打ち出し、市民と一緒に啓発
 活動をすすめていくべきである。



第1次評価レーダーチャート

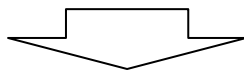
3 第1次評価（事前評価）

評価	評価基準	合計評価点	判定理由（150字以内）
4	5 きわめて良好である 80点以上	75	
	4 適正である 60～79点		
	3 おおむね適正である 40～59点		
	2 問題がある 20～39点		
	1 不適正である 19点以下		



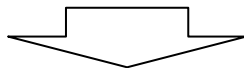
4 決算審査における確認事項 (300字以内)

[Empty box for confirmation items]



5 現在の社会状況等

市の財政状況・国及び都の動き・市民生活などをふまえた、改善・効率化・見直しの方向性(200字以内)



6 第2次評価 (修正・今後の方向性)

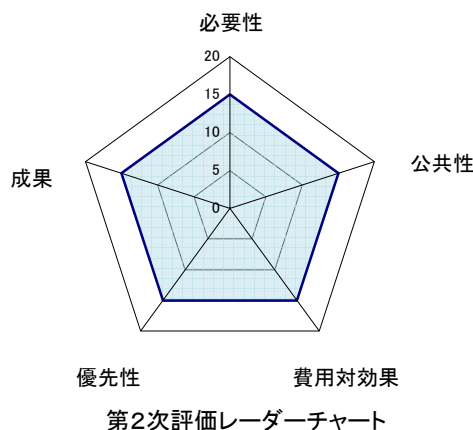
(1) 項目別評価及び全体評価 ※評価基準等は、第1次評価と同じ

評価	合計評価点	(1) 必要性	(2) 公共性	(3) 費用対効果	(4) 優先性	(5) 成果	全体評価(100字以内)
4	75	15	15	15	15	15	目標数値25%達成を目指して、さらなる市民協働をすすめること。リバウンドをおこさないために日ごろの啓発活動もおこたることのないように。

(2) 評価コメント

評価の補足・修正理由など(300字以内)

減量目標達成は担当課の皆さんたちの努力と市民の力によるものである。ごみ減量に関しては一人でも多くの関わる市民を広げることがさらなるごみ減量に結びつくことなので、減量推進員に対しての啓発や事業への取り組みへの参加を継続して行うことが必要。



(3) 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由(200字以内)
5	5 拡充する 4 現状のまま継続する 3 改善・効率化し継続 2 見直しのうえ縮小する 1 休止・廃止	集団回収の新たな方法を検討し、少しでも行政回収を減らしていくための取り組みが必要である。またなまごみ処理に関しても補助金対象を増やす、堆肥化に向けての動きをつくるなどの努力を今後も続けること。電動生ごみ処理機に関しては温暖化対策の面からも今後補助を見直していくように。また循環型社会を目指すためにも製造者責任をより強く国に求められたい。

※特記事項(200字以内)

食用廃油再生燃料化モデル事業については、当初の事業展開は自区内処理を目指していたはずだが、法律の関係もあって他区にまでもって行って行うことは不本意である。そこまでしてやる事業なのか改めて考える必要があるのでは。

平成21年決算特別委員会 事業評価シート

会派名： 民主党TAMA

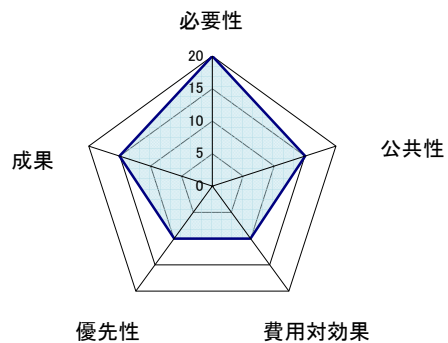
No.	予算科目	事業名	事業報告書詳細ページ
8	衛生費	ごみ減量化推進事業	784

1 項目別評価（事前評価）

評価項目	評価基準（該当右欄に○）	評価点	評価コメント（100字以内）
(1)必要性 (市民ニーズ)	①きわめて必要性が高い(20点) ②必要性が高い(15点) ③どちらかといえば必要性がある(10点) ④必要性が低い(5点) ⑤必要性がない(0点)	○ 20	ごみ減量は、環境負荷を軽減するという点からもごみ処理費用を減らして、プラスの税の使い方を実現するという点からも必要性が高い。
(2)公共性 (市が行わなければならないか)	①市が行わないといけない(20点) ②公共性が高い(15点) ③どちらかといえば市が実施(10点) ④公共性が低い(5点) ⑤公共性がない(0点)	○ 15	全市民が取り組むべき課題であり、市が一定のけん引役を果たす必要性はあるが、市だけが取り組む問題ではない。
(3)費用対効果 (コストに見合った成果があるか)	①きわめて効果的である(20点) ②効果的である(15点) ③どちらかといえば効果的(10点) ④どちらかといえば非効果的(5点) ⑤非効果的である(0点)	○ 10	啓発の効果を測定することは難しい。が、有料化はごみを出すたびにその費用を意識する効果がある。しかし慣れてくると効果は薄れる。今後は、さらなる減量への動機付けを工夫する必要がある。
(4)優先性 (他事業に優先し実施する必要があるか)	①きわめて優先性が高い(20点) ②優先性が高い(15点) ③どちらかといえば優先性がある(10点) ④優先性が低い(5点) ⑤優先性がない(0点)	○ 10	市民自身の気づきと継続的な取組みが軌道に乗れば、税の投入を他分野に振り向けられる。
(5)成果 (目標の達成状況)	①きわめて成果があがっている(20点) ②成果があがっている(15点) ③どちらかといえばあがっている(10点) ④どちらかといえばあがっていない(5点) ⑤成果はあがっていない(0点)	○ 15	ごみ減量はある程度達成できた。

2 全体評価（事前評価）

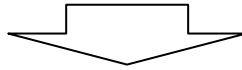
全体のバランス・事業の位置づけなど(200字以内)



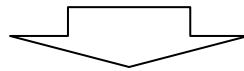
第1次評価レーダーチャート

3 第1次評価（事前評価）

評価	評価基準	合計評価点	判定理由(150字以内)
4	5 きわめて良好である 80点以上	70	
	4 適正である 60～79点		
	3 おおむね適正である 40～59点		
	2 問題がある 20～39点		
	1 不適正である 19点以下		

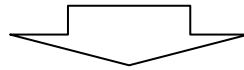


4 決算審査における確認事項 (300字以内)



5 現在の社会状況等

市の財政状況・国及び都の動き・市民生活などをふまえた、改善・効率化・見直しの方向性(200字以内)



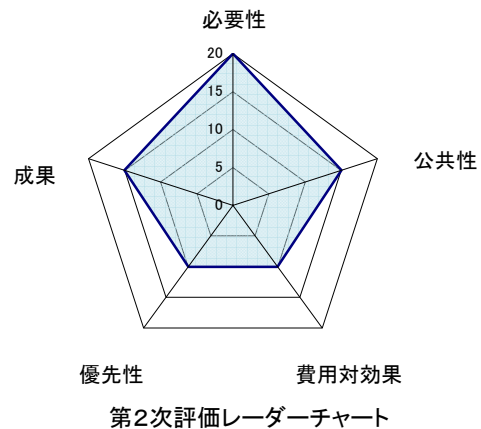
6 第2次評価 (修正・今後の方向性)

(1) 項目別評価及び全体評価 ※評価基準等は、第1次評価と同じ

評価	合計評価点	(1)必要性	(2)公共性	(3)費用対効果	(4)優先性	(5)成果	全体評価(100字以内)
4	70	20	15	10	10	15	

(2) 評価コメント

評価の補足・修正理由など(300字以内)



(3) 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由(200字以内)
4	5 拡充する 4 現状のまま継続する 3 改善・効率化し継続 2 見直しのうえ縮小する 1 休止・廃止	有料化はごみ減量の決定打ではないことを認識し、現状に甘んじることなく更なる目標達成に向けて取組んでいく必要がある。

※特記事項(200字以内)

平成21年決算特別委員会 事業評価シート

会派名： あおぞら

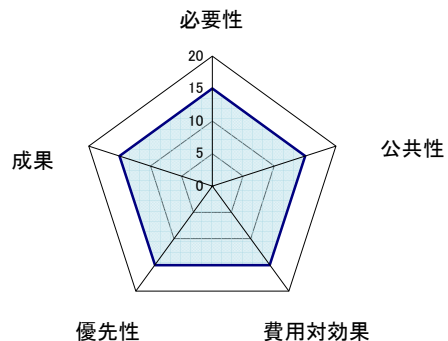
No.	予算科目	事業名	事業報告書詳細ページ
8	衛生費	ごみ減量化推進事業	784

1 項目別評価（事前評価）

評価項目	評価基準（該当右欄に○）	評価点	評価コメント（100字以内）
(1)必要性 (市民ニーズ)	①きわめて必要性が高い(20点) ②必要性が高い(15点) ③どちらかといえば必要性がある(10点) ④必要性が低い(5点) ⑤必要性がない(0点)	○ 15	市民のより一層の減量意識を高め、地球温暖化防止や、最終処分場の経済的な活用のため、必要性が高い。
(2)公共性 (市が行わなければならないか)	①市が行わないといけない(20点) ②公共性が高い(15点) ③どちらかといえば市が実施(10点) ④公共性が低い(5点) ⑤公共性がない(0点)	○ 15	25%というゴミ減量を達成するためには、市民と協働して行う必要性がある。
(3)費用対効果 (コストに見合った成果があるか)	①きわめて効果的である(20点) ②効果的である(15点) ③どちらかといえば効果的(10点) ④どちらかといえば非効果的(5点) ⑤非効果的である(0点)	○ 15	ゴミ減量化は着実に進んでおり、効果がみられる。
(4)優先性 (他事業に優先し実施する必要があるか)	①きわめて優先性が高い(20点) ②優先性が高い(15点) ③どちらかといえば優先性がある(10点) ④優先性が低い(5点) ⑤優先性がない(0点)	○ 15	継続する取組みが必要であり、優先性も大切である。
(5)成果 (目標の達成状況)	①きわめて成果があがっている(20点) ②成果があがっている(15点) ③どちらかといえばあがっている(10点) ④どちらかといえばあがっていない(5点) ⑤成果はあがっていない(0点)	○ 15	20年度ゴミ減量化が進んでおり、成果は評価できる。

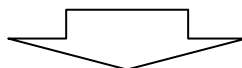
2 全体評価（事前評価）

全体のバランス・事業の位置づけなど(200字以内)
答、評価項目ともに高く、取組みを継続してもらいたい。



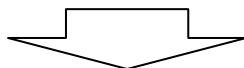
3 第1次評価（事前評価）

評価	評価基準	合計評価点	判定理由（150字以内）
4	5 きわめて良好である 80点以上	75	全体評価としては、市民ニーズとのバランスも適正である。
	4 適正である 60～79点		
	3 おおむね適正である 40～59点		
	2 問題がある 20～39点		
	1 不適正である 19点以下		



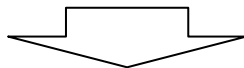
4 決算審査における確認事項 (300字以内)

[Blank area for confirmation items]



5 現在の社会状況等

市の財政状況・国及び都の動き・市民生活などをふまえた、改善・効率化・見直しの方向性(200字以内)



6 第2次評価 (修正・今後の方向性)

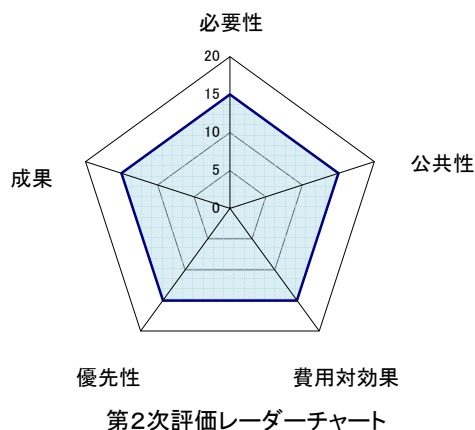
(1)項目別評価及び全体評価 ※評価基準等は、第1次評価と同じ

評価	合計評価点	(1)必要性	(2)公共性	(3)費用対効果	(4)優先性	(5)成果	全体評価(100字以内)
4	75	15	15	15	15	15	[Blank area for overall evaluation]

(2)評価コメント

評価の補足・修正理由など(300字以内)

市民がごみの有料化に慣れ、意識低下しないように、リバウンド防止のためにも更なる努力が必要だと思います。ごみ有料化による財源を、これからの施策に有効利用をして頂きたい。



(3)今後の方向性

評価	評価基準	判定理由(200字以内)
3	5 拡充する	[Blank area for justification]
	4 現状のまま継続する	
	3 改善・効率化し継続	
	2 見直しのうえ縮小する	
	1 休止・廃止	

※特記事項(200字以内)

平成21年決算特別委員会 事業評価シート

会派名： 日月会

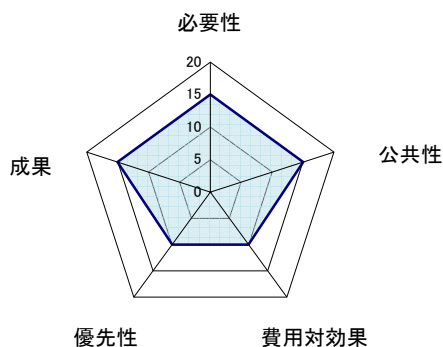
No.	予算科目	事業名	事業報告書詳細ページ
8	衛生費	ごみ減量化推進事業	784

1 項目別評価（事前評価）

評価項目	評価基準（該当右欄に○）	評価点	評価コメント(100字以内)
(1)必要性 (市民ニーズ)	①きわめて必要性が高い(20点) ②必要性が高い(15点) ③どちらかといえば必要性がある(10点) ④必要性が低い(5点) ⑤必要性がない(0点)	○ 15	
(2)公共性 (市が行わなければならないか)	①市が行わないといけない(20点) ②公共性が高い(15点) ③どちらかといえば市が実施(10点) ④公共性が低い(5点) ⑤公共性がない(0点)	○ 15	
(3)費用対効果 (コストに見合った成果があるか)	①きわめて効果的である(20点) ②効果的である(15点) ③どちらかといえば効果的(10点) ④どちらかといえば非効果的(5点) ⑤非効果的である(0点)	○ 10	
(4)優先性 (他事業に優先し実施する必要があるか)	①きわめて優先性が高い(20点) ②優先性が高い(15点) ③どちらかといえば優先性がある(10点) ④優先性が低い(5点) ⑤優先性がない(0点)	○ 10	
(5)成果 (目標の達成状況)	①きわめて成果があがっている(20点) ②成果があがっている(15点) ③どちらかといえばあがっている(10点) ④どちらかといえばあがっていない(5点) ⑤成果はあがっていない(0点)	○ 15	

2 全体評価（事前評価）

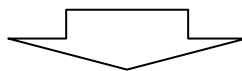
全体のバランス・事業の位置づけなど(200字以内)



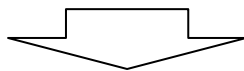
第1次評価レーダーチャート

3 第1次評価（事前評価）

評価	評価基準	合計評価点	判定理由(150字以内)
4	5 きわめて良好である 80点以上	65	
	4 適正である 60～79点		
	3 おおむね適正である 40～59点		
	2 問題がある 20～39点		
	1 不適正である 19点以下		

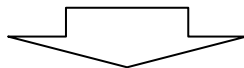


4 決算審査における確認事項 (300字以内)



5 現在の社会状況等

市の財政状況・国及び都の動き・市民生活などをふまえた、改善・効率化・見直しの方向性(200字以内)



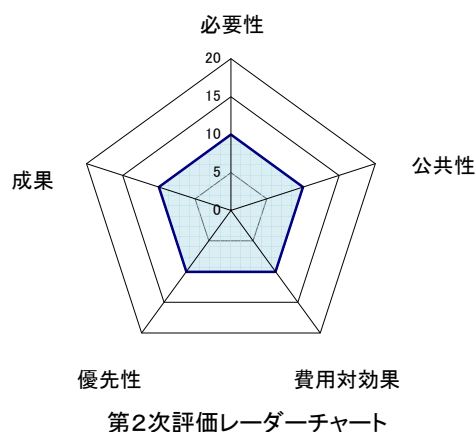
6 第2次評価 (修正・今後の方向性)

(1)項目別評価及び全体評価 ※評価基準等は、第1次評価と同じ

評価	合計評価点	(1)必要性	(2)公共性	(3)費用対効果	(4)優先性	(5)成果	全体評価(100字以内)
3	50	10	10	10	10	10	ごみの減量化は、市民と一体となったもので評価が出来る。

(2)評価コメント

評価の補足・修正理由など(300字以内)



(3)今後の方向性

評価	評価基準	判定理由(200字以内)
3	5 拡充する 4 現状のまま継続する 3 改善・効率化し継続 2 見直しのうえ縮小する 1 休止・廃止	有料指定袋も今後あり方を検討し、啓発活動や生ごみ処理機の補助金の成果や集団回収も、行政主導をあらためていくべきである。

※特記事項(200字以内)